



町の考えを問う!

10議員が登壇

3月定例議会では10名の議員が一般質問を行いました。
 その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により10～15ページに掲載します。
 なお、会議中の発言及び答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(但し、今議会分は6月初旬の掲載になります。)

伊奈町議会ホームページ
<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>

学校の教育用コンピュータの整備状況は

◎ 国における制度改正がようやく見えてきたところである。予防重視型システムへの転換と地域包括支援センターの創設など。新たなサービ体系的の見直しに当たっては各課の横断的な検討を重ねる。高齢者保健、高齢者福祉、介護保険の諸課題の解消を目指す。

介護保険・五年間を踏まえた見直しのタイムテーブルは

国の改正の概要が
 ようやく見えてきたところである

ながすえこうじ 永末厚二議員

◎ 今回の制度見直しは大幅で、各課の連携や町民への協力・理解も必要ではないかと思うが伊奈町の作業スケジュール、見直しの重点、町の体制はどのように考えているか。

◎ 交付税措置のコンピュータ配備は平成17年度で終了するが配備水準を満たしているか。
 ◎ 中学校では一人一台と満たしているが、小学校は二人一台で水準を満たしていない。

今後の行政改革について

◎ 今後は町として自立をするため機構改革や町民参加、施策の評価・公表等改革が必要と思うが
 ◎ 組織・機構の見直しは社会変化に的確に対応する必要はある。これから住民との協働のまちづくりが必要。行政情報提供や町民参加の環境・支援などをする中からパブリックコメントも研究したい。行政評価については十分研究を重ね、住民に分かりやすい公表の方法も研究したい。



小学校のパソコン学習

不況のなか生活困難な家庭に 就学援助制度の充実を

国規準に上乗せをして

実施しているが、充実に努力する

金子利作議員

かねこりさく

問 地方自治を巡る環境はここ10年間で大きく変貌している。地方分権一括法による合併の押しつけ、行政改革、三位一体の財政改革などで地方自治体は大きな困難に直面していると思うがどうか。

答 財政危機と言われている中で、地方も責任の一端を負わなければならない。

問 まちづくりの基本は、町が持っているすべての情報を町民に提供し、町民参加を積極的に求めることだ。町の予算の全容を分かりやすく編集し、知らせるべきだ。

答 予算、編集体制などを検討し、住民参加が果たせるよう努力したい。



役場庁舎

問 長引く不況の中で経済的困難な家庭が増加している。そのような家庭に就学を保障する就学援助制度の充実を図ること

は重要だ。現状と問題点は。 **答** 入学時に就学援助制度の説明を行い、受け付けている。必要保護者の支給基準は、生活保護費の1.5倍とし、給付内容は国基準に上乗せをして実施している。

問 県は上尾東高校の廃止を計画しているが、問題はなにか。 **答** 中学生の減少による整備だ。混乱のないよう対処する。



今後も整備が望まれる丸山スポーツ広場

がんセンター付近に 墓地ができると聞くが

上尾市長から意見照会があった

高橋康一議員

たかはしやすかず

問 丸山スポーツ広場は何か計画があるか。

答 全体で6708㎡ある土地については、新た

に整備していく必要がある。町民の要望を伺いな

がら、財政の許される範囲で、植栽等考慮しながら

ら継続して整備していく。 **問** 文科省の学習指導要領見直し論を如何に考えるか。

答 中央教育審議会でも幅広く検討し、審議していくことになっているので推移を見守っていきたいと考えている。21世紀の国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題、高齢化・少子化などの社会変化に対応する新しい時代の教育を実施するための教育内容が今回の指導要領である。実施後3年目であるので成果はこれからである。

問 がんセンター・南西部に墓地ができると思うが本当か。

答 昨年6月に上尾市長から町に対し意見照会があった。「墓地に関し近隣環境整備等に十分配慮し、周辺住民等の迷惑にならないよう処置するとともに、付近住民等との間に問題が発生した場合、貴職と経営者で責任をもち解決を」と意見を出した。



北部開発に伴い生徒数増加が著しい小針中学校

教育環境の充実について

小針中の教室不足の対応は

通学区域の見直し・普通教室確保
早期に検討実施していく

こばやしきくえ

小林菊江議員

問 北部開発に伴い人口増加が見込まれるが、小針中学校の教室不足が懸念される。
生徒数増加は今現在どのような状況か。また、教室不足が予想される時

答 期は何年先か。更に、今後の対策と計画は。
平成18年度は355名・11学級、平成22年度には505名・15学級程度の学校規模になると推測され、来年度以降毎年1学級の

増加が見込まれる。

また、県施工による区画整理事業の進捗に伴い、さらなる生徒数の増加が予想されるので、平成21年度前後には普通教室数を学級数が上回る可能性がある。町全体的な通学区域の見直しと、普通教室確保の両面で早期に検討していく。

介護保険を予防重視に

問 介護保険改革案の目玉は予防重視型システムである。

答 町は何に重点を置き、どんな取り組みをしているのか。

答 「新予防給付」と合わせ総合的な地域支援システムとして構築していく。

公共施設のトイレ改善を

問 障害者トイレを優先に電源の改修や児童館内幼児用は前向きに検討していく。

栄地区の防犯システムづくりは

本年度、地区内に防犯拠点をつくり、地域ボランティア等による自主防犯体制を構築する

やまもとしげゆき

山本重幸議員

丸の内地区まちづくりは

事業費等を考えて慎重に検討していく。

介護予防重視の施策を

問 高齢化社会にあつて、いかにして健康で長生きをするかが問われている。多くの自治体で各種の「要介護にさせない」新たな取り組みが試行されているが、伊奈町として、筋トレの導入、高齢者スポーツの振興等独自の施策を考えるべきではないか。

答 提言を「介護保険事業計画」の見直しにあたり、課題として取り組んでいく。

問 昭和9年に埼玉県の手指定を受けた、史跡「伊奈氏屋敷跡」は70年以上、地元住民の痛みの中に保存されてきている。平成15年にまとめられた「丸の内地区まちづくり基礎調査報告書」でも充分読み取ることができ。しかしその後2年を経過したがどのような状況になっているのか。

次のステップとしてアンケート等で汲み取った地区の意思がより反映できる将来像を作成し、地区の方々と話し合いに入る段階ではないか。

答 住民の方の要望や手法が多岐にわたること、



伊奈氏屋敷跡

北保育所の移転建設は

2007年度を目指している

おおさわ
じゅん
大沢 淳議員

ごみ処理行政について

問 ごみ減量化・資源化には、行政と住民の協力が必要、町の取り組みは

答 古紙や容器包装、プラスチックの分別回収を実施してきた。また、クリーンセンター見学会を開催した。

問 安易に計画されるごみ処理有料化に意義があるのか。有料化を検討する理由は。

答 費用負担の公平化。

今後の町の保育計画について

問 保育所持機児童の解消の方向は。

答 北保育所を移転建設して定員を増加し、対応



育スペースなど整備する。

小針新宿・新田地域の交通安全対策を

問 地域の生活道路が都市計画道路に接続している、大変危険だ、対策を。

答 交通安全対策の必要性を認識している、接続する桶川市市道の拡幅に合わせ町道も拡幅する予定、地元説明会を実施する。

したい。

問 保育の多機能化は。

答 地域子育て支援センターや障害をもった子ども通所訓練室、一時保



野焼きされた綾瀬川岸

綾瀬川の流水浄化と川岸の美化に取り組むべきだ

河川整備は河川管理者である埼玉県が行うことになっており、町単独では困難だ

むらやままさはる
村山正弘議員

綾瀬川について

問 川岸の美化として、美観を損なっている枯草の除去を冬季に、野焼き

を行うべきだ。また、不法投棄ゴミの処理と定期巡回による維持管理を行うべきだ。

答 野焼きについては廃

棄物処理法により禁止されているが、地方団体が施設管理のため行うものは可能だ。

しかし、近隣に住宅が張り付いている場合は難しい。不法投棄ゴミに対しては、綾瀬川沿いを定期的パトロールを実施していく。

問 流水浄化について、上流は川幅がせまいことから、川底の清掃を考えるべきだ。

また、上流から川水が汚れていることから上流の流入水を調査すべきだ。
答 川底の清掃は河川管理者である埼玉県が必要に応じて行うことであり、町単独では困難だ。

流入水調査について水質は下水道の整備、合併浄化槽の普及等により年々改良されてきている。

指定管理者制度について

問 改法の町への影響はどうか。

答 現時点での影響はない。



有効な不審者対策が求められている

小・中学校、保育所の防犯対策は

刺股、ネットランチャーを配備する

青木久男議員

問 大阪寝屋川市の小学校に17歳の卒業生が侵入し教職員3名を死傷させた事件から今日で丁度

1ヶ月になる。

痛ましい事件が学校という本来オープンであるべき場所で起きたという

ことがショックであり、類似事件の再発防止を検討するうえで、難しい問題を投げかけている。

児童生徒の安全はもちろん、教職員の安全も講じなければならぬわけで、事件を機にあちこちの自治体では新たに予算を組んで不審者対策、再発防止策に乗り出したところも多数ある。そこでこの事件を機に新たに与えられた対策を伺う。

答 町立学校、保育所に防犯用具を配備し万全を期す。

国民健康保険について

問 国保税が高い。年々高騰する医療費が原因だ。

健康で医者要らず、かつ長生きの人が一人でも多くなるような抜本策を構築し、医療費削減による保険税軽減を大いに検討すべきだと考えるがどうか。

答 種々施策を講じてはいるが、なかなか医療費削減に結びつかないのが現状だ。

「町長へのてがみ」ねらいと活用は

住民ニーズの把握にあり

予算執行上参考に

永沼時子議員

スーパーなどで買い物をするたびにもらうレジ袋減少のためにマイバック

持参の運動を。
答 商工会ではバックの色やデザインの検討、バック持参者への特典など運動の準備をしている。また、JA直売所「四季彩館」にも働きかけ、運動の実現に向け話し合いを進めていきたい。また町民の意識啓発のためのキャンペーン等も考えていく。

問 町の財政状況は非常に厳しいもの、だからこそ町民とのパートナーシップのまちづくりが大切。住民の声を聞く公聴の充実を。

答 「町長への手紙」やインターネットのホームページのご意見箱等を設置し、住民のニーズを把握している。

限られた財源をいかにニーズに合った使い方をするかが大切であり、寄せられた意見や要望は、内容をよく吟味・検討し、予算執行上、参考にしていきたい。

マイバック運動の実施を

問 ごみの削減のために、



町長への手紙

要援護者安全確保対策は

関係機関と連携を深める

やべまつお
矢部松男議員

問 新潟県を襲った集中豪雨で15名の方が亡くなり、そのうち12名が70歳以上の高齢者、特に痛ましいのは、自宅で被害に遭われたこと。

また、阪神・淡路大震災後に多発した高齢者の孤独死のような、悲惨な状況を招かないよう万全な対策を築いてもらいたい。

さて、当町の要援護者の実態把握は。

答 障害者手帳所持者や、緊急通報システムをはじめとした福祉サービス利用者等については、各種台帳により実態を把握している。

また、在宅介護支援センターを通して単身高齢者の見守り等により、把握に努めている。



災害時に必要となる防災倉庫

問 各種機関がおのの保有している情報の共有化は。

答 緊急時においては、その限りではない。

答 町で把握している情報の共有化については、個人情報保護等の問題もあり、難しい。

問 災害はある日突然やってくる。町の使命は住民の生命・財産を守ることも大きな役割と思う。このような緊急時においても情報の共有化は難しいのか。



次の議会は

今回の定例議会の開会予定日は6月7日(火)です。詳しい日程は、5月下旬に決定します。

傍聴するには

議会の本会議を傍聴するときには、会議当日に議会事務局窓口で名簿にお名前とご住所をご記入のうえ、傍聴券・資料を受け取りただいてから傍聴席にお入りください。また、委員会の傍聴につきましては、委員長の許可制になっておりますので事前にお申し込みが必要ですが。

なお、本会議・委員会ともに、傍聴席の数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

募集します！

議会だよりの表紙を飾る写真を撮ってみませんか。

128号は8月1日、129号は11月1日の発行予定です。それぞれ各号季節に合った表紙の写真を募集します。採用された方には粗品と表紙に写真とともに撮影者氏名を掲載します。

応募資格

町内在住・在勤・在学中の方。

応募〆切

5月31日

応募方法

はがきに住所(町外在住の場合は在勤地または在学地)、氏名、年齢、電話番号、希望する号、簡

単なPRをお書きのうえ、

〒362-8517

伊奈町小室9493

議会だより編集委員会

までお送りください。ご応募いただいた方のなかから委員会で抽選のうえ決定します。詳細につきましては、決定後にご連絡いたします。

撮影条件

撮影地は町内。被写体に人物を含むこと。また議会広報紙の表紙に適した内容であること。

テーマは発行日の約2ヶ月前に委員会です決定します。

デジタルカメラを使用される場合は、高画質での撮影をお願いします。

注意事項

報酬等の支給や費用弁償、災害補償、保険は一切ありません。